

# I 調査結果の概要



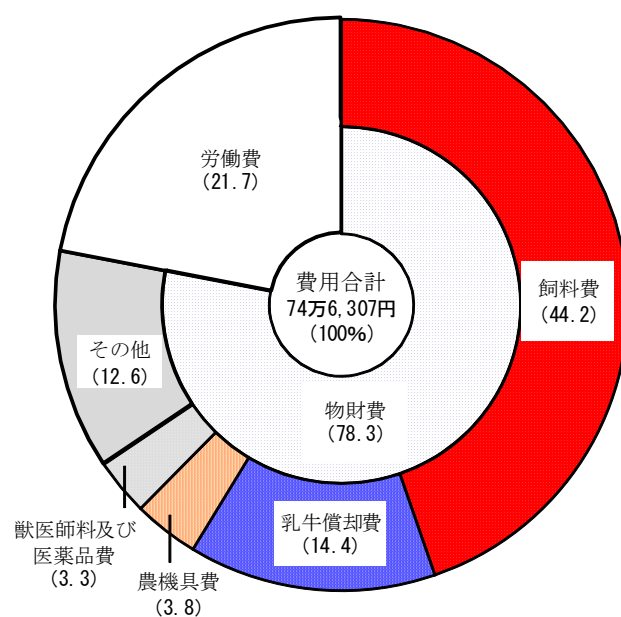
## 1 牛乳生産費

(1) 平成22年度の搾乳牛通年換算1頭当たりの資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は71万6,529円で、前年度に比べ1.3%減少し、生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算）全算入生産費は7,959円で、前年度に比べ0.6%増加した。

(2) 搾乳牛通年換算1頭当たり全算入生産費が減少したのは、飼料価格の低下により飼料費が減少したこと等による。

(3) 搾乳牛通年換算1頭当たり粗収益は、乳価が低下したことにより前年度に比べ1.8%減少し、78万6,382円となった。

図1 主要費目の構成割合  
(搾乳牛通年換算1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第1表 牛乳の生産費及び収益性

区分	搾乳牛通年換算1頭当たり		生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量）	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生産費	円	%	円	%
物財費	584,675	0.6	6,495	2.5
労働費	161,632	△ 1.2	1,795	0.6
費用合計	746,307	0.2	8,290	2.1
生産費（副産物価額差引）	675,026	△ 1.2	7,498	0.7
支払利子・地代算入生産費	686,117	△ 1.2	7,621	0.7
資本利子・地代全額算入生産費	716,529	△ 1.3	7,959	0.6
粗収益	786,382	△ 1.8	-	-

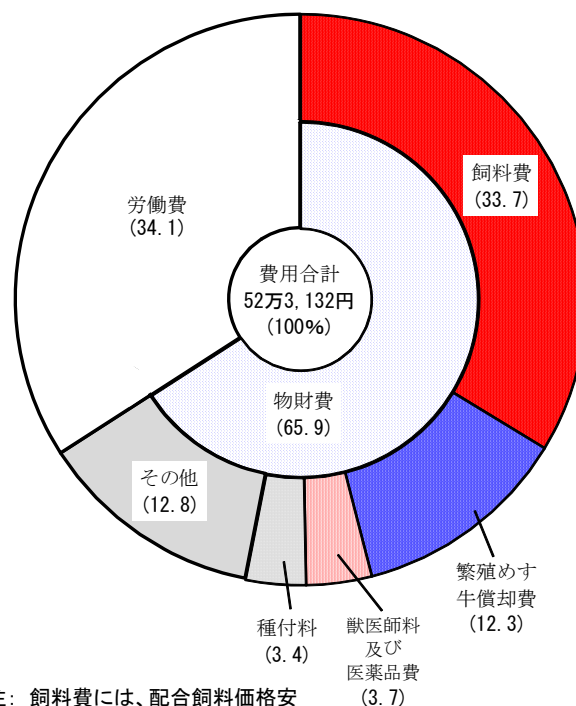
## 2 子牛生産費

(1) 繁殖めす牛を飼養し、肉専用種の子牛を販売する経営における平成22年度の子牛1頭当たり全算入生産費は56万4,273円で、前年度に比べ2.2%増加した。

(2) 子牛1頭当たり全算入生産費が増加したのは、飼養期間の延長により飼料費が増加したこと等による。

(3) 繁殖めす牛1頭当たり粗収益は、和子牛市場価格が上昇したことから前年度に比べ6.1%増加し、40万5,638円となった。

図2 主要費目の構成割合  
(子牛1頭当たり)



第2表 子牛の生産費及び収益性

区分	実数	対前年度増減率
生産費 (子牛1頭当たり)	円	%
物財費	344,498	2.7
労働費	178,634	3.4
費用合計	523,132	3.0
生産費 (副産物価額差引)	492,192	3.1
支払利子・地代算入生産費	499,912	3.1
資本利子・地代全額算入生産費	564,273	2.2
粗収益 (繁殖めす牛1頭当たり)	405,638	6.1

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

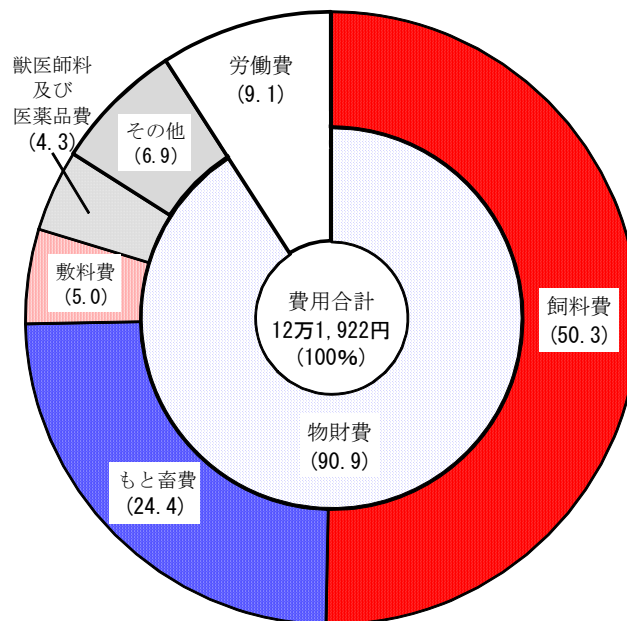
### 3 乳用おす育成牛生産費

(1) 乳用種のおす子牛を育成し、販売する経営における平成22年度の乳用おす育成牛1頭当たり全算入生産費は12万871円で、前年度に比べ3.2%増加した。

(2) 乳用おす育成牛1頭当たり全算入生産費が増加したのは、労働時間の増加により労働費が増加したこと等による。

(3) 乳用おす育成牛1頭当たり粗収益は、肉用子牛（乳用種）市場価格が低下したことから前年度に比べ1.6%減少し、10万918円となった。

図3 主要費目の構成割合  
(育成牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第3表 乳用おす育成牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり	
	実数	対前年度増減率
生産費	円	%
物財費	110,869	3.2
労働費	11,053	11.7
費用合計	121,922	4.0
生産費（副産物価額差引）	118,182	3.4
支払利子・地代算入生産費	119,140	2.9
資本利子・地代全額算入生産費	120,871	3.2
粗収益	100,918	△ 1.6

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

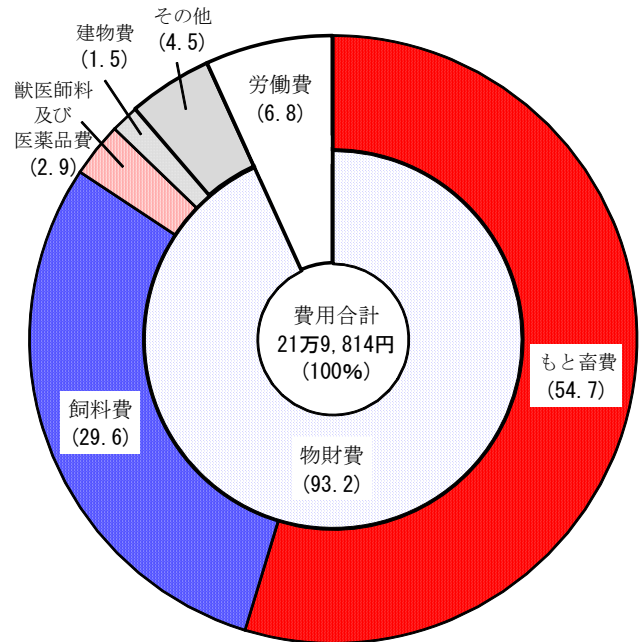
#### 4 交雑種育成牛生産費

(1) 交雑種の子牛を育成し、販売する経営における平成22年度の交雑種育成牛1頭当たり全算入生産費は22万1,542円で、前年度に比べ10.8%増加した。

(2) 交雑種育成牛1頭当たり全算入生産費が増加したのは、もと牛導入時期（主に平成21年9月～22年8月）におけるもと畜費が増加したこと等による。

(3) 交雑種育成牛1頭当たり粗収益は、肉用子牛（交雑種）市場価格が上昇したことから前年度に比べ19.8%増加し、24万8,290円となった。

図4 主要費目の構成割合  
(育成牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第4表 交雑種育成牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり	
	実数	対前年度増減率
生産費	円	%
物財費	204,859	11.2
労働費	14,955	5.9
費用合計	219,814	10.8
生産費（副産物価額差引）	217,279	10.9
支払利子・地代算入生産費	218,548	11.0
資本利子・地代全額算入生産費	221,542	10.8
粗収益	248,290	19.8

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

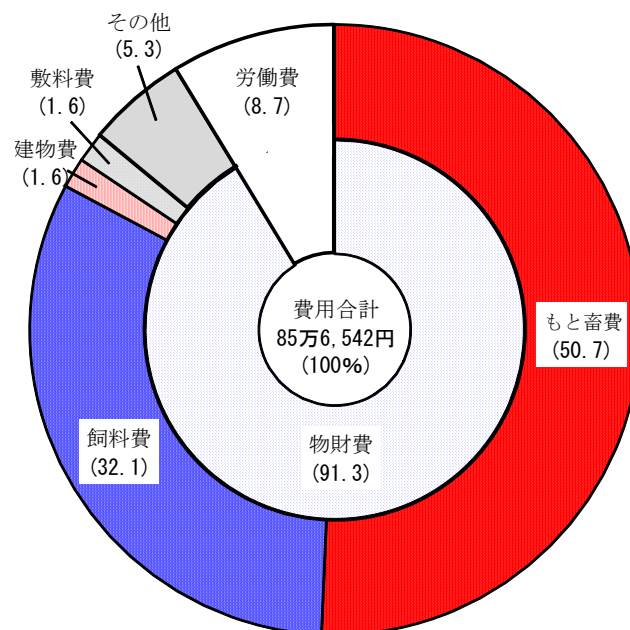
## 5 去勢若齡肥育牛生産費

(1) 肉専用種の去勢若齡肥育和牛を肥育し、販売する経営における平成22年度の去勢若齡肥育牛1頭当たり全算入生産費は86万9,092円で、前年度に比べ10.0%減少した。

(2) 去勢若齡肥育牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、もと牛導入時期（主に平成20年8月～21年7月）におけるもと畜費が減少したこと等による。

(3) 去勢若齡肥育牛1頭当たり粗収益は、去勢肥育和牛市場価格が上昇したことから前年度に比べ1.3%増加し、84万246円となった。

図5 主要費目の構成割合  
(肥育牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第5表 去勢若齡肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生産費	円	%	円	%
物財費	782,412	△ 11.0	104,108	△ 11.1
労働費	74,130	2.2	9,864	2.0
費用合計	856,542	△ 10.0	113,972	△ 10.1
生産費（副産物価額差引）	845,593	△ 10.1	112,515	△ 10.2
支払利子・地代算入生産費	856,976	△ 10.2	114,030	△ 10.3
資本金利子・地代全額算入生産費	869,092	△ 10.0	115,642	△ 10.2
粗収益	840,246	1.3	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

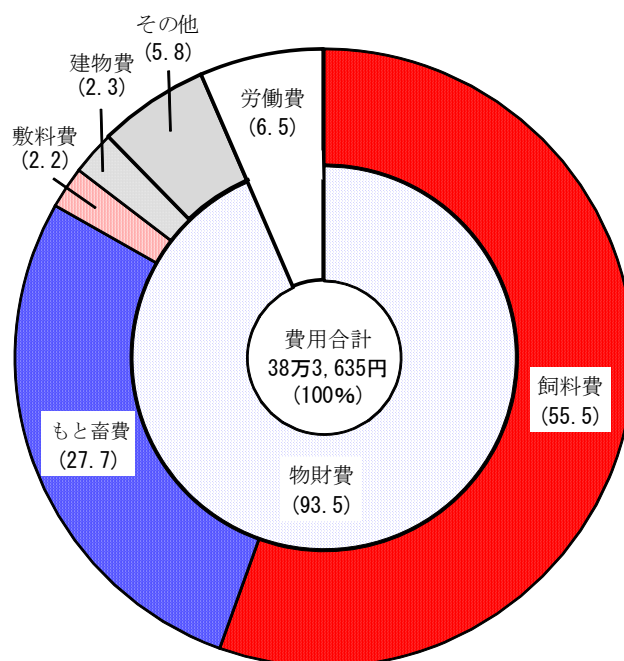
## 6 乳用おす肥育牛生産費

(1) 乳用種のおす牛を肥育し、販売する経営における平成22年度の乳用おす肥育牛1頭当たり全算入生産費は38万7,506円で、前年度に比べ0.2%減少した。

(2) 乳用おす肥育牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したこと等による。

(3) 乳用おす肥育牛1頭当たり粗収益は、肉用牛（乳用種）市場価格が低下したことから前年度に比べ2.8%減少し、33万2,155円となった。

図6 主要費目の構成割合  
(肥育牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第6表 乳用おす肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生産費	円	%	円	%
物財費	358,601	0.1	46,371	△ 1.9
労働費	25,034	△ 3.8	3,238	△ 5.8
費用合計	383,635	△ 0.1	49,609	△ 2.2
生産費（副産物価額差引）	378,181	△ 0.2	48,904	△ 2.2
支払利子・地代算入生産費	380,018	△ 0.4	49,141	△ 2.4
資本利子・地代全額算入生産費	387,506	△ 0.2	50,110	△ 2.3
粗収益	332,155	△ 2.8	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

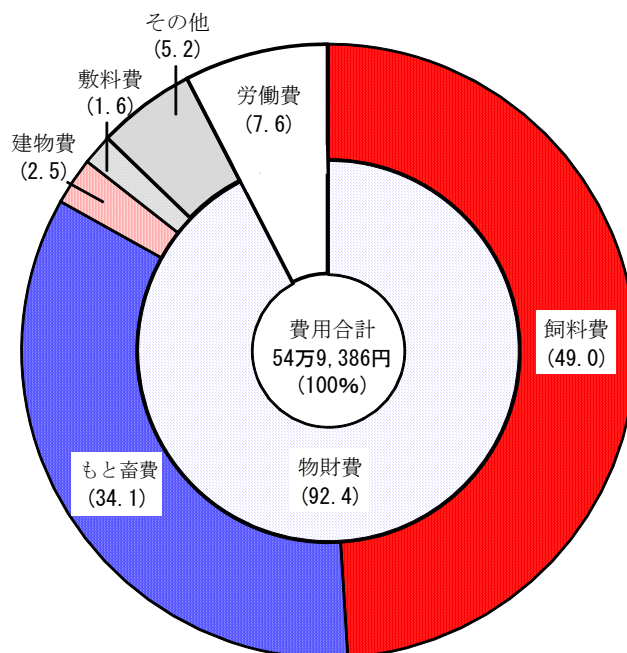
## 7 交雑種肥育牛生産費

(1) 交雑種の牛を肥育し、販売する経営における平成22年度の交雑種肥育牛1頭当たり全算入生産費は55万9,660円で、前年度に比べ4.0%減少した。

(2) 交雑種肥育牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したことや、もと牛導入時期（主に平成20年9月～21年8月）におけるもと畜費が減少したこと等による。

(3) 交雑種肥育牛1頭当たり粗収益は、肉用牛（交雑種）市場価格が上昇したことから前年度に比べ10.9%増加し、54万5,298円となった。

図7 主要費目の構成割合  
(肥育牛1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第7表 交雑種肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生産費	円	%	円	%
物財費	507,627	△ 4.2	66,221	△ 5.9
労働費	41,759	△ 3.8	5,447	△ 5.5
費用合計	549,386	△ 4.2	71,668	△ 5.8
生産費（副産物価額差引）	542,241	△ 4.2	70,736	△ 5.9
支払利子・地代算入生産費	545,879	△ 4.2	71,211	△ 5.9
資本利子・地代全額算入生産費	559,660	△ 4.0	73,009	△ 5.7
粗収益	545,298	10.9	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。



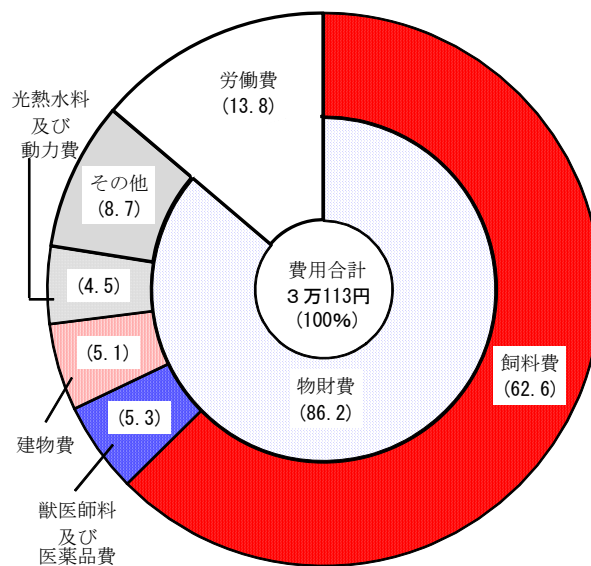
## 8 肥育豚生産費

(1) 平成22年度の肥育豚1頭当たり全算入生産費は3万371円で、前年度に比べ2.5%減少し、生体100kg当たり全算入生産費は2万6,904円で、前年度に比べ2.7%減少した。

(2) 肥育豚1頭当たり全算入生産費が減少したのは、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したこと等による。

(3) 肥育豚1頭当たり粗収益は、豚枝肉価格が上昇したことから前年度に比べ6.8%増加し、3万1,979円となった。

図8 主要費目の構成割合  
(肥育豚1頭当たり)



注：飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

第8表 肥育豚の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生産費	円	%	円	%
物財費	25,948	△ 2.8	22,987	△ 3.0
労働費	4,165	△ 0.6	3,690	△ 0.8
費用合計	30,113	△ 2.5	26,677	△ 2.7
生産費（副産物価額差引）	29,461	△ 2.6	26,098	△ 2.8
支払利子・地代算入生産費	29,672	△ 2.4	26,285	△ 2.6
資本利子・地代全額算入生産費	30,371	△ 2.5	26,904	△ 2.7
粗収益	31,979	6.8	-	-